

徳島県上勝町でドローンによる被害状況の調査を実施(第3弾)

平成30年 7月17日
徳島森林管理署

平成30年7月豪雨では、徳島県内各地に大きな災害をもたらしましたが、徳島県上勝町蔭行(かみかつちょういんぎょう)地区でも、地域住民の重要な生活道である町道湖南線の法面で山腹崩壊が発生し、その影響を受け、町道湖南線が不通となりました。町道湖南線は同地区の観光資源である月ヶ谷温泉(つきがたにおんせん)に連絡する道路でもあり、町道湖南線の不通は地域の観光振興にも大きな影響を及ぼします。

このような状況を踏まえ、7月12日、徳島森林管理署長が徳島県東部農林水産局森林整備課と調整を行い、7月15日、当署職員が無人航空機(ドローン)の空撮による被害状況(位置、規模等)の調査を行うとともに、空撮データ、分析結果を徳島県東部農林水産局に提供しました。

徳島森林管理署は、地元自治体と連携し、ドローンを活用しながら被害状況の把握と復旧に全力で取り組んで参ります。



上勝町蔭行地区(いんぎょうちく)の災害現場



徳島森林管理署職員がドローンで調査



徳島県担当者と画面で確認